

会員数	94,130	(前月比) -	6
手配り	28,954	(前月比) +	33
郵送	9,063	(前月比) +	20
会員世帯数	41,076	(4/30現在) [前月比 57増]	
協同基金到達額	2,428,524,000円	(4/30現在)	
		[前月比 4,880,000減]	
協同基金出資者数	22,617名	(4/30現在)	



発行  
健康友の会 みみはら  
民医連 本部事務局組織部  
機関紙編集委員会  
〒590-0821  
堺市堺区大仙西町6丁184-2  
Tel.072-244-8061  
Fax.072-244-7860 1部 30円

# 輝け憲法！平和といのちと人権を！

## 5・3 おおさか総がかり集会

5000人参加

5月3日 扇町公園



憲法記念日の5月3日、おおさか総がかり集会が5000人の参加で開催されました。



ポテッカーアピール



メインスピーチの川崎哲さん

メインスピーチは、2017年ノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」の川崎哲さん。「今は第3次世界大戦の一步手前」といえる状況の下、市民の活動が核兵器禁止条約などの平和のルールや法規を作り出し、それが戦争を止める力となっている。市民の力が戦争を止める力となっている。一人ひとりが声を上げることが大切と話されました。

立憲野党(立憲民主党、日本共産党、社民党、れいわ新選組)から、今こそ市民と野党の共闘で、憲法・平和を守ろうと連帯の挨拶がありました。参加者全員で「とめよ

4月18日14時から、鳳ウエルカム作戦として、高石ブロック友の会会員訪問に取り組みました。友の会・職員合わせて計27人が参加して、高石診療所の周囲に位置する、



診療所の周囲に位置する、

加茂1〜2丁目、東羽衣7丁目を訪ねました。診療所周辺というところもあり、日ごろから利用していただいている方が多く、高石診療所が閉院することは、残念だし不安になるとい声も少なからずありました。送迎バスの運行計画を説明すると少し安心され、「送迎を利用して鳳クリニックを受診したい」「鳳クリニックは予約を取らないと診てもらえないのか」「高石診療所のカルテは申し送られ



今年4月に就職した新人事務も3人参加し、地域の生の声を聞き、貴重な経験が出来たと思います。(建設事務局)

### 高石地域のみなさん

### 鳳クリニックへようこそ



2コースに分かれて扇町公園を出発

う大軍揃いのポテッカーを掲げた後、2コースに分かれてパレードを行いました。

### 核兵器のない平和で公正な世界を

## 原水爆禁止 国民平和行進 2024

核兵器のない世界へ 一歩でも二歩でも一緒に歩きましょう

#### ●幹線コース

7月3日(水) 和泉市役所(8:40) → 浜寺公園(14:00) → 堺市役所(17:00)

#### ●網の目コース(泉北ニュータウンコース)

7月6日(土) 大蓮公園(9:40) → 〈ニュータウン内行進〉 → 泉ヶ丘駅前交番(11:30)

### 聴診器

4月に入り 自宅の窓枠に アシナガバチ が小さい巣を作り始めた。うちは通学路に面しているので、処分すべきかどうか、家族内で紛糾、危険な生き物として扱うべきか書物を買って読み調べるはめになった。アシナガバチは野菜につく青虫を捕まえてくれる益虫で、4〜5月は母バチ1匹が産卵始める時期で攻撃しない時期。6〜7月は働きバチが増える時期で巣の周囲1mに近づくと防衛のため刺す可能性はあるという。この時期が過ぎれば、何もしないハチであることを再確認した。我が家のハチは仁徳陵に放してやったが、移動中は指先におとなしく止まったままだった。里山に棲むスズメバチは別格で秋には巣の半径10mに侵入すると攻撃的になるため注意は必要。▼暮らしたなかで虫が不快なものに扱われる時代になって久しい。人里ではアシナガバチは作物を守ってくれる共存してきた仲間なのに、今はハチは全て攻撃するもの、殺処分する対象とされていることを悲しく思う。地球はヒトの所有物ではない、膨大な生き物との繋がりで生きている一生物だ。小さな命も大事に思うことは地球規模での多様性を認めることと思う。が読者は如何だろうか。(緒方浩美)